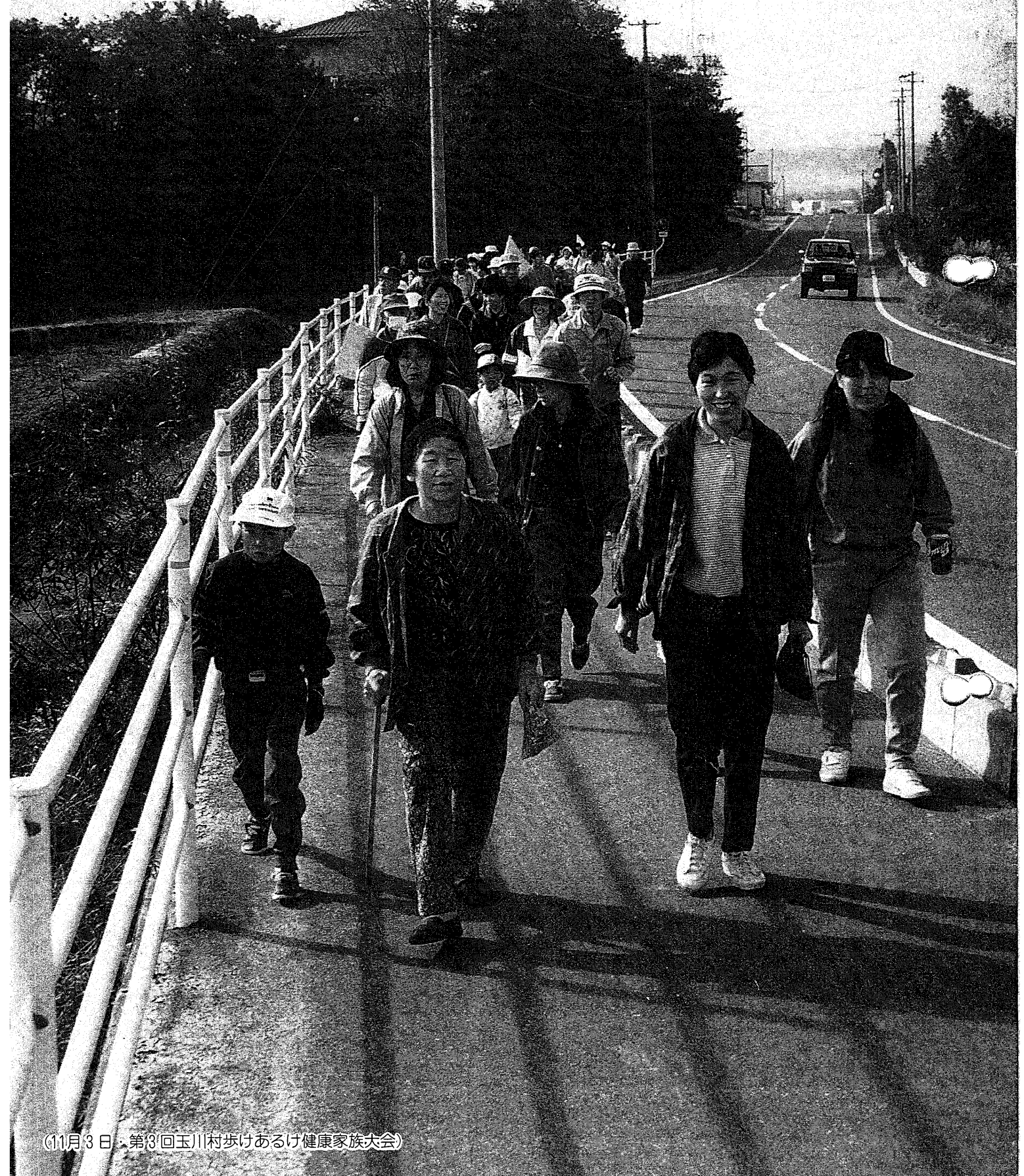


空と緑 新、呼吸する


たまかわ
しんぶん

たまかわ

'93
11
No. 327



(11月3日・第3回玉川村歩けあるけ健康家族大会)

より深いそして あたたかい交流を図る

鹿谷郷へ海外派遣研修

8月31日から9月4日までの4泊5日の日程で、鹿谷郷への海外派遣研修が行われました。今回の研修も前年に続き、日華親善友好都市提携推進協議会の研修と心るさと創生海外派遣事業を合同で行い、車田次夫村長を団長に36人が参加。

老人、婦人、産業、教育のそれぞれのグループに分れて交流を図り、友好を確かめました。今回の研修の様子を9月2日に行われたグループ交流を中心に写真と参加者の感想（報告書からの抜粋）で振り返ってみます。



研修のあしあと

- 8月31日（火）
- 11:30 福島空港から大阪空港へ
 - 12:45 大阪空港着
 - 16:10 大阪空港から台北空港へ
 - 17:40 台北空港着
 - 9月1日（水）
 - 9:00 国立故宫博物館などを研修
 - 13:00 鹿谷郷へ出発
 - 17:00 鹿谷郷着
 - 18:00 レストランで夕食会
 - 9月2日（木）
 - 9:00 鹿谷郷で歓迎式

和気あいあいの ゲートボール交流

引率者：真弓好司 参加者：藤田金二 大竹達良 小山田武雄 大越藤幸 渡辺政一 円谷ミツ

ゲートボール交流は、鹿谷国民小学校の運動場で鹿谷郷の老人会の方々と試合形式で行い、その内2試合は玉川と鹿谷の混成チームで和気あいあいのプレー。昼食では、地元の方々の

「50年前の戦時中の軍歌がゲートボール場で歌われた事が印象に残りました」

参加者の感想から

「私たちが1勝3敗と負けながらも、ゲートボールがとても上手でした。お昼に食べた五目ご飯は本当においしかった。」「熱心に練習しているせいか技術は素晴らしい。ルールについても、もう少し理解する必要があると感じた。」「昼食の懇談の時に、玉川村でも先生をしていた山口校長先生が作った国旗の掲揚台へ案内されたり、作詞した校歌を聞かされたりして懐かしく思いました。」「一緒にプレーした人たちは、ほとんどの人が日本語を話せるので異国の感じがせず、とてもなごやかに交流ができました。」「



楽しいダンスの 婦人交流

参加者の感想から

引率者：佐藤恵美子 参加者：塩沢キミエ 湯沢てい子 野崎豊子 宗形恵子 小貫ミサヲ 大和田昭子 小針ナミ子

「玉川村との交流を深めるために、日本語の勉強をしていると聞き、意欲的な姿を感じました。私たちが見習わなければ……」「鹿谷の婦人の方々は、気持ちよく、積極的に教えたダンスも、すぐ覚えてしまいました。」「私たちが訪問した時が中元節で、婦人の方々はたいへん忙しかったそうです。でも、うれしかったです。」「楽しいという歓迎してくれました。」「ホームステイをして、一般家庭の生活や料理、伝統や習慣を

- 各グループに分かれての交流会
- 17:30 夕食交流会
 - 9月3日（金）
 - 9:00 鹿谷郷から台北市へ
 - 15:00 日月潭を研修
 - 15:00 桃園縣 中華汽車工業股份有限公司（自動車会社）を研修
 - 18:00 台北市内泊
 - 9月4日（土）
 - 9:00 台北市内研修
 - 13:15 台北空港から成田空港へ
 - 17:15 成田空港着
 - 22:30 玉川村着

「バスでの移動を予定していましたが、婦人の方々が少しでも交流の時間を長くしたいと自分の車に乗せてくれました。温かい心づかいと積極さを感じました。」「会って10分もたたないうちに、もう何日も前からの知り合いのように親しくなる婦人会の皆さんでしたので、すぐに緊張感もほぐれ、充実した交流ができました。」「交流が始まるまではとても不安でしたが、会った瞬間、明るい人間性と心の温かさ、活発さを感じました。」「



へえーヒノ木って種から育つんだ

須釜小児童が森林教室に参加



10月5日須釜小学校児童5・6年生を対象に、森林への理解を深めてもらおうと、山新田にあるヒノキ採種園と四辻新田の東野の清流で森林教室が開かれました。

教室は、地元四辻新田愛林組合（塩田征二郎組合長）と石川営林署（星康善署長）の協力によって行われ、児童ら約100人が参加。初めに、日本の林業や森林の役割などについて営林署の職員の方から説明を受け、ヒノキの種採りを体験しました。子供たちは、興味深そうに種を観察しながら約1時間、種をもぎ取り、その後、種から1年、2年と育てていく過程の説明を受け、しきりにうなずいていました。

また、昼食時には場所を東野の清流に移し、約60年位育つたヒノキを見ながら、バーベキューを楽しみました。



鈴木勝彦君

「ヒノキの実を採ると変なおいがしました。でも、たくさん採れたのでおもしろかったです。焼肉もおいしかったですね。」



鈴木 睦さん

「森林をたくさん増やせば、緑がいっぱいで気持ちいいと思う。また、森林教室をやりたいなあ。」



高橋由美子さん

「二つの実の中に種が20〜30個ある事などいろいろ分かった。こんなすごい木にふれ合えるのだから何人もの人に知ってほしい。」



真野目裕一君

「自分の家の近くに、大切な種を採る場所があったのには驚いた。来年も森林教室をやりたいと思います。」

熱気と根気を感じた 産業交流

引率者：八木喜久夫 参加者：高林甚之助 車田喜衛 大竹一雄 野崎文吉 石森四郎一 橋本義晴 石井貞一 真弓一治 鈴木安夫 溝井浩一

参加者の感想

「鹿谷郷の方々には、生産しているウーロン茶や竹細工を、玉川村との交流の機会に販売したいという強い希望をもっているのを感じました。」

「玉川村の多くの人に、あのおいしいウーロン茶を飲んでもらいたいと思います。また、サルナシの苗を台湾に送ってみてはどうでしょうか。」

「竹づくりで今、取り組んでいるのは四角竹の栽培。30センチぐらいの時に四角の型に入れて作りますが、成功率は20%との事。失敗したものは別に利用すると

生き生きとした目をもつ 子供たちに学んだ教育交流

引率者：永林正典 参加者：溝井賢彦 大竹寿雄 吉村忠雄 仁井田ツヤ子 秋川博次 小林宏寿 本田吉和 森 博

教育交流では、鹿谷郷に9つある小学校のうち鳳凰国民小学校と託児所を訪問して交流を図

りました。小学校では校長先生をはじめ教育関係者、児童らの拍手で出迎えを受け、児童によるオーケストラや体操を見学しました。その後、昼食時の託児所を訪問。また、教育懇談会も開かれ、積極的に意見を交換しました。

参加者の感想

「校長のあいさつで『我々は孔子様の教えに従って子供を導く。玉川村の良い友人が来られた事は大変うれし。』と述べた。儒教に基づきつけと道徳教育が人格形成の基本となっているのだと感じた。そして、将来を担う児童生徒に期待し、村を挙げて教育に情熱を傾けていることを強く感じた一日だった。」

であった」

「日本と同じく高校入試が厳しいですが、制度が悪いと考えず、教師、親、本人が挑戦していく気持ちでいるのを感じた。頑張る気持ち、向上心などにこれからの教育面の高さを思う」

「子どもの表情は生き生きとしていて好感がもてた。何か児童は目的をもって生活している明るさを見て、豊かさの中で忘れ

がちな日本の生活を見直す必要性を感じた」

「施設の面では恵まれているとはいえないが、元氣一杯に勉強に運動に励んでいる姿に、将来日本を乗り越える時が来るような気迫を感じました」

「子供たちがグロップを持っていたので、借りて訪問者同志でキャッチボールをやってみせると、バットをかまえて

打たせてくれという子供たちがいた。スポーツは、お互いを知り合える近道ではないかと思う」

「小学校からの帰りに、教室の子供たちに『再見！（さようなら）』と手を振った私に対して、鳳凰小の子供たちは『さようなら』と日本語で、体を一杯につかっただけでくれた。この光景に思わず感動して鳥肌が立ってしまった」

11月9日～11月15日
秋の火災予防
運動



成人おめでとう

今のところ該当者は108人です

平成6年の成人式を来春1月15日(成人の日)に、玉川村就業改善センターで行います。

村内に住所がある該当者は次のとおりです。該当しているのに名前が載っていない方や村外に住所があってもふるさとで成人式を迎えたい方は、12月15日までに村公民館☎57-3101内線62番にお申し込み下さい。(名簿は10月16日現在のものです。)

川 辺(12人) 磯日るみ・山崎良浩・熊田義英・新國あい・坂本和枝・須藤久之・野崎敦子・須藤孝一・矢部ゆかり・味原恵美・鈴木厚志・須藤 忠

蒜 生(3人) 曲山英樹・溝井明子・藁谷比登美

小 高(12人) 内田友久・小針満理子・首藤幸恵・西川英範・高原伸也・矢吹隆子・溝井和正・佐藤明子・関根美和・溝井佐知子・車田フミ子・車田昭典

中 (12人) 高林浅栄・高林裕美・吉田誠司・鈴木博美・永林しのぶ・小林剛祐・岩谷唯義・遠藤 尚・鈴木幸子・鈴木美喜子・野崎純一・高林 厚

岩 法 寺(14人) 和田亜希子・大竹末子・草野奈緒美・石森 勝・永林 泉・瀬谷幸二・草野祐子・大竹豊彦・石森哲也・奥野 学・鈴木 隆・石森吉美・佐藤義史・溝井栄子

竜 崎(24人) 岡部睦美・湯澤のぞみ・小林啓二・仁井田ユミ・鈴木真紀・上野孝子・上野俊光・三吉隆生・久保木一枝・小針秀一・仁井田充恵・小林進一・渡邊幸一・添田紀子・小林勝則・佐藤健一・鈴木信幸・岡部 勇・熊田理香・佐藤貴雄・小林裕子・小林さやか・小林里美・小林栄子

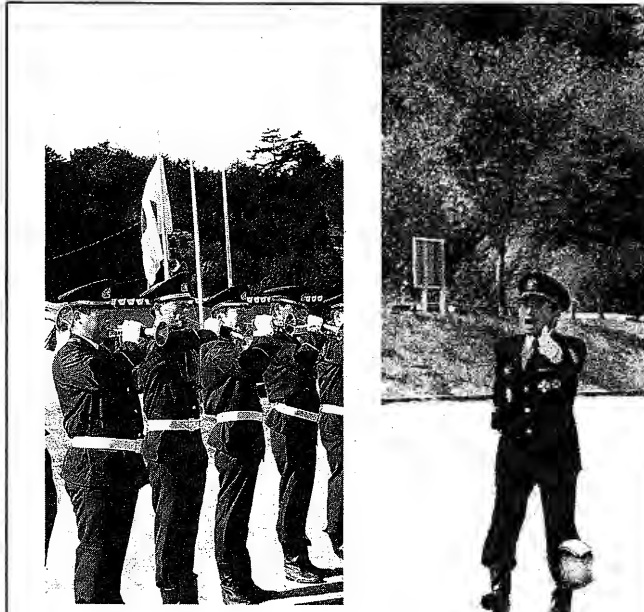
南 須 釜(18人) 塩澤幸彦・大野真紀・目黒良子・和氣 毅・藤田浩希・塩澤由美・安部秀幸・熊谷かおり・小原幸枝・大野孝一・阿部由美子・齋藤裕子・近内勝喜・斑目千恵子・小原和江・近内正治・遠野裕美子・木戸恵子

北 須 釜(8人) 草野康弘・小針明美・榊枝幸子・小針智幸・矢吹美和子・塩澤貴広・榊枝和子・西館英子

吉 (2人) 大和田誠・矢吹春美

山 小 屋(2人) 石森フミイ・石森幸治

四辻新田(1人) 関根広道



士気高らかに

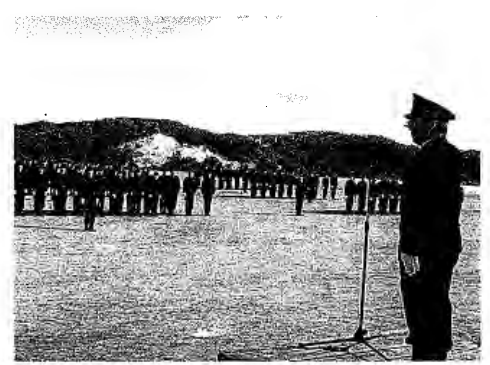
玉川村消防団秋季検閲

玉川村消防団(大竹勝義団長)の秋季検閲が10月24日(日)村民グラウンドで行われ、団員と婦人消防隊員、関係者約300人が参加しました。

当日は、北風の強い寒い日となりましたが、団員らは寒さにまげず士気高らかに、通常点検や機械器具点検・分列行進などを行いました。また、永年にわたる消防活動の功績が認められた次の方々に、各種表彰が伝達されました。

●**県知事表彰**(優良青年消防団員章) 曲山幸男(蒜生)
●**日本消防協会会長表彰**(功績章) 大竹勝義(岩法寺)
●**県消防協会会長表彰**(精勳章) 真弓一治(蒜生) 石井和夫(四辻) 曲山幸男(蒜生)
●**村団長表彰**(特別表彰) 草野光徳(北須釜)

第3小隊が2連覇
昨年に続き行われた小隊訓練競技会では、団員らが6つの小



隊を編成して技と正確さを競い合い、今年も第3小隊(岩法寺・竜崎分団)が優勝旗を手にしました。結果は次のとおり
●**優勝** 第3小隊(岩法寺・竜崎分団)
●**準優勝** 第2小隊(小高・中分団)
●**優良指揮者** 第2小隊 関根雅彦(小高分団)
●**優良第1分隊長** 第5小隊 榊枝清(北須釜分団)
●**優良第3分隊長** 第6小隊 鈴木繁一(吉分団)

愛をありがとう

10月14日の献血者は95人でした。ご協力に感謝いたします。(太字は400cc献血者)

福島双羽電機(20人) 坂崎昭 本田 剛 大内浩之 秋田秀男 松川勝徳 石森とよ 有我 冬 小林タツ子 添田文子 草野代道 小出 真 中島敏光 大中茂喜 渡辺裕彦 草野ナカヨ 根本志朗 金沢政彦 添田晴彦 小松賢三 新国剛男 駒木根工業(12人) 水野勝義 首藤 進 森 百合子 大竹いちよ 熊田栄子 吉田義頭 柳沼敬子 石井紀男 小針きみえ 南條玲子 真弓英典 小林梅子 片山ユム(12人) 阿部光吉 小倉充喜 葉直秀和 草野とし子 矢吹富士子 大野忠春 吉村時子 荒牧勇二 近内源吉 石森金弘 熊田紀子 須釜農協(7人) 八木喜孝 石森忠義 車田正喜 草野光徳 大越健一 石森秀子 小原文子 玉川畜産センター 阿部金四郎 佐久間昇 須田正行 石森代志子 石森三勝 石森三男 宗形菊男 中山 昇 渡辺英雄 玉川村役場前(31人) 武藤浩 熊田富一 大竹義紀 小針善栄 車田光子 鈴木博幸 三吉隆之 大槻喜美子 石井雅夫

草野正博 油座広安 国井正四 曲山英夫 丹内一彦 岩谷ミサヲ 石井春美 溝井陳彦 小針達夫 小針康敬 矢部美枝子 遠藤ゆみ 小原幸春 塩田 誠 安部 孝 鈴木義一 小針周吉 永瀬一雄 有我良雄 野崎敦子 佐藤義光 森 博 次の方々は成分献血者です。 溝井康夫 仁井田健 溝井浩一 小針武彦

駅伝

スタート

第1区 4.3 km
白河総合運動公園陸上競技場から市内へ出て同公園入口まで

小林祐子さん (泉中3年)

第2区 3.3 km
白河総合運動公園入口からフランスベッド白河工場まで

塩田百恵さん (須賀川高校1年)

第3区 8.6 km
フランスベッド白河工場から泉崎村役場まで

小林浩二さん (日本東北高校2年)

第4区 8.8 km
泉崎村役場から矢吹町役場まで

鈴木 篤さん (日本東北高校3年)

11月21日(日)白河市から福島市までの101キロ15区間を激走する第5回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会が開かれます。一昨年は64位、昨年は60位と徐々に順位を上げてきている玉川村選手団も、この大会に3回目の出場をします。10月29日には選手団の結団式も行われ、本番へむけて選手と関係者の気運も盛り上がってきました。ゼッケン「74」を胸に、玉川村の代表として走る選手たちを、村民みんなが応援して下さい。全コースと走る選手を紹介します。



監督 小針孝一 (村社会教育指導員)

「勝ちにいけます」
「今年で3回目の出場となります。今まで以上の成績を目指して、前半からガンガン飛ばし、勝ちにいけます」

勝利を目指し ベストを尽くせ!

ふくしま駅伝

ゼッケンは

74

11月21日(日) 午前8時05分スタート

控選手

- 武田康雄 (埼玉工業高校2年)
- 大竹良光 (泉中学校1年)
- 渡辺 守 (学法石川高校1年)
- 鈴木文子 (須賀川中学校1年)
- 鈴木悦美 (須賀川中学校3年)
- 補欠選手
- 小林信幸 (泉中学校1年)
- 大越紀幸 (須賀川中学校3年)
- 草野 旭 (須賀川中学校3年)
- 関根勝夫 (須賀川中学校2年)
- 佐久間浩幸 (泉中学校2年)
- 水野 寿 (泉中学校2年)
- 大野久美子 (須賀川中学校3年)
- 阿部峰子 (須賀川中学校2年)
- 関根裕美 (須賀川中学校3年)
- 鈴木聡美 (須賀川中学校2年)
- 石井紀子 (須賀川女子高校2年)
- 小針和彦 (トステム)
- 小針仁一 (トステム)
- 石森四郎一 (須賀川東部連送)

ゴール

第15区 8.7 km
福島大学から福島県庁まで

藤田貴裕さん (泉中3年)

第14区 3.4 km
松陵中学校から福島大学まで

小林路子さん (学法石川高校1年)

第13区 10.5 km
二本松市役所から松陵中学校まで

上野一徳さん (岩瀬農業高校2年)

第12区 10 km
本宮橋南から二本松市役所まで

岩谷唯義さん (東京精工)

第11区 8.5 km
日和田駅入口から本宮橋南まで

角田重成さん (清陵情報高校1年)

第9区 5.2 km
郡山総合体育館から行健小学校まで

有賀秀和さん (須賀川中3年)

第10区 3.6 km
行健小学校から日和田駅入口まで

曲山ひとみさん (泉中2年)

第8区 5.4 km
日本全業工業から郡山総合体育館まで

近内信和さん (須賀川中3年)

第7区 8.1 km
須賀川市役所から日本全業工業まで

草野敏史さん (泉中3年)

第6区 5.3 km
岩瀬牧場から須賀川市役所まで

小針一志さん (コバリ抜型)

第5区 8.0 km
矢吹町役場から岩瀬牧場まで

小林勝則さん (泉中1年)



感動は心に残るもの

作文コンクール表彰式

玉川村青少年育成村民会議が主催した第9回「家庭の日」作文コンクールと第8回「少年の主張」作文コンクール、今年初めて行われた第1回「家庭の日」書写コンクールの表彰式が、10月27日村就業改善センターで行われました。このコンクールは、子供たちに家族とのふれ合いや自分の体験をふり返ってもらう、その感動を心に残すため毎年、村内の小中学生全員を対象に行われています。主な入賞者は次のとおり。

第1回 「家庭の日」書写コンクール入賞者

賞別	学校名	学年	氏名
最優秀	玉一小	1年	鈴木潤
優秀	玉一小	1年	車田直子
優秀	玉一小	2年	吉田直樹
最優秀	玉一小	3年	小針尚
優秀	須釜小	4年	塩田ちひろ
優秀	須釜小	4年	八木佳美
最優秀	須釜小	6年	矢吹兼次
優秀	川辺小	6年	小木奈津子
優秀	玉一小	5年	倉鎌みほ
最優秀	須釜中	1年	瀬谷麻理子
優秀	須釜中	2年	草野美恵子
優秀	須釜中	2年	瀬谷ゆう子

優秀	須釜小	6年	鈴木勝彦	祖母の役に立ちたい
最優秀	泉中	1年	溝井敦志	ぼくの弟
優秀	泉中	1年	森 隆	母を幸せに
優秀	泉中	2年	関根いつみ	私の胸の「ドキ、ドキ」
優秀	須釜中	3年	大野晴子	チャッ チャッ チャッ

第8回 「少年の主張」作文コンクール入賞者

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	泉中	1年	鈴木阿弥子	少年の笑顔から
優秀	須釜中	2年	草野孝幸	僕の決意
優秀	泉中	3年	溝井敦子	老人との出会いから
優秀	泉中	3年	黒須紀子	孤独を乗り越えて

第9回 「家庭の日」作文コンクール入賞者

賞別	学校名	学年	氏名	表題
最優秀	玉一小	1年	添田 恵	おばあちゃんのえがお
優秀	川辺小	2年	矢吹澄江	あたららのちょう上をめざして
優秀	玉一小	2年	佐久間拓也	うちのほんおどり
最優秀	玉一小	4年	車田恭子	おもしろかったおかし作り
優秀	川辺小	3年	小木智美	カレー作り
優秀	須釜小	3年	小原 真	赤ちゃん
最優秀	玉一小	6年	石井明子	みんなでそば作り
優秀	川辺小	5年	坂本梨恵	おばあちゃんがんばって
優秀	玉一小	6年	高原麻理恵	自然の中の家庭の日

「三世代の主張」では 泉中の二人が入賞

(助)福島県長寿社会推進機構(佐藤栄佐久理事長)が主催した「三世代の主張」では、泉中学校から2人の生徒の作品が入賞し表彰されました。入賞したのは、最優秀賞の溝井恵さん(3年)「祖父の生き方に学ぶ」と優秀賞の黒須紀子さん(3年)「今、私達がやれること」のお二人です。表彰式は10月23日に会津若松市で行われ、最優秀賞に輝いた溝井恵さんは、ステージで自分の作品を堂々と発表しました。溝井さんの作品を紹介します。

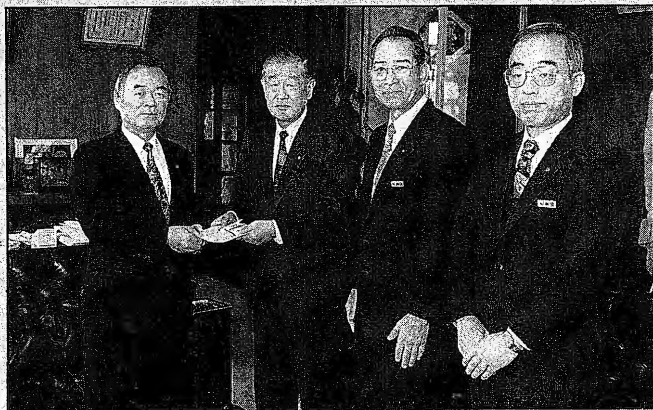


黒須紀子さん 溝井 恵さん

「祖父の生き方に学ぶ」溝井 恵(泉中3年)

「恵、元気が。一緒にじゃがいも掘りすつべな。」
 何と郡山から、祖父がじゃがいも掘りを手伝うために自転車で来てくれたのです。
 「じいちゃん、今日も自転車で来たの？くたびれないかい。」
 こう私が聞くと、祖父は笑いながら、「じいちゃんは若い者にはまだまだ負けられないわい。虫歯だって、一本もないぞ。ほら、元気、元気。」と軽く駆け足をしてみせるのです。
 久しぶりに、祖父と一緒にじゃがいも掘りをした夜、取りたてのじゃがいもをふかし、食卓を囲みました。祖父や父はお酒を飲み、歌など歌いあい、とても楽しそうでした。そのうち、
 「恵、この前じいちゃんは、いわき市まで自転車で行ってきたぞ。」
 と祖父が言うのです。私は、七十八歳の祖父が、ここまで行ったというのに驚いてしまいました。
 「車だと速すぎて、自分の行きたい場所はよく見れないし、自由に行動出来ないだろう。それに、そこにいる人達に話を聞いたりも出来ないしな。自転車だと、まず体にもいいし、あちこちへ行くの、いろいろな所に行けるし、いろんな所に友達も出来るから、旅は自転車に限る。」
 祖父は、県内にある名所旧跡をよく自転車で見て回ります。自転車で旅をする時は、いつもハーモニカと双眼鏡を手放さないので、疲れると休憩しながらハーモニカを吹いて、元氣回復を待つそうです。軍歌を吹くと「頑張るぞ。」という気になってくるといいます。
 酔った時、大きな声で歌を歌う祖父。祖父の歌のうまさは抜群です。それに、ヴァイオリンまで弾く祖父。歌のうまさは、ほんの少しだけ私にも流れているかもしれません。というのは、学校の特設合唱部に私が選ばれたからです。私がこのことを話すと、祖父は
 「じいちゃんの孫だもん、当然、頑張ると喜んでくれました。」
 一度だけ、祖父と二人で福島空港まで、自転車で出かけたことがあります。もちろん先頭は祖父。私は祖父に追いつくのに懸命にペダルを踏みましました。
 郡山に住むその祖父が、去年の四月、息子の転勤に伴い、岩手に移るこたになりました。
 私はとてもがっかりしてしまいました。望遠鏡で私を見ながら、
 「オー、恵はなかなかの美人だなあ。目がいい。優しい目をしている。」
 なんて冷やかしたり、突然郡山から来たり、楽器を弾いてくれるそんな祖父

になかなかあえなく思うと、
 がっかりしてしまいました。
 その祖父達が転動してから数日後、祖父から電話がありました。
 何と祖父は、メーカー付きの新しい自転車を買い、元氣に盛岡市内の名所や、近くの山々を見て回っているというのです。
 父も母も、この電話で、
 「さすがじいちゃんだ。この調子じゃ、本当の盛岡から自転車で来るかも知れないぞ。」
 と言いつつ、
 祖父は、引越す前に父や母に、
 「自転車で恵に会いにいこうぞ。」
 と言っていたそうです。父や母は冗談にすぎないかと思っていたようですが、私は、祖父ならきっとやるに違いないという確信があります。
 今、私には一つの目的があります。それは高校に入学できたら、夏休みを利用して、盛岡の祖父の所へ行くという計画です。自転車で訪れた私を見た祖父はなんと言うでしょう。今からそれを楽しみにしています。
 七十八歳の祖父のパワーに十五歳の私だつてまけてはいられません。
 「じいちゃん、来年の夏休みを楽しみにしてね。盛岡の名所を案内してください。じいちゃんと一緒にペダルを踏み目を楽しみに待っています。」
 祖父の生き方は、高齢化社会の中で最高にすきな生き方だと思います。私の両親にも、祖父のような生きがいのある老後を送ってほしいと思います。



玉川支店の開店を記念して 須賀川信用金庫から100万円の寄付

須賀川信用金庫から村に100万円の寄付があり、村長室で贈呈式が行われました。式では、須賀川信用金庫の伊藤理事長が「地域の人たちにお世話になり玉川支店を開店できました。村発展のために役立ててください」と車田村長に寄付金を手渡し、車田村長は「有効に使わせていただきます。ありがとうございます」とこたえました。

いよいよ農協合併へ 「あぶくま石川農協」予備契約調印式

石川地方の農協合併について各農協ごとに地域座談会や説明会などが行われてきましたが、ついに合併に向けての予備契約調印式が石川町で開かれました。合併されるのはJAいわき石川町、JA玉川村泉、JA須釜、JA蓬田、JA平田村小平、JA浅川町、JA古殿町の7つの農協で「あぶくま石川農業協同組合」として生まれ変わります。調印式では、合併予備契約書などに7つの農協の組合長理事と立会人として石川地方の5町村長が署名し、平成6年3月の新JA発足を誓い合いました。



防ごう電波障害

図案コンクールで泉中から2人が入賞
福島県電波障害防止協議会が主催した第26回電波障害防止図案コンクールで泉中学校の2名の作品が入賞しました。
入賞したのは溝井二三子さん(NHK賞)と関根誠くん(福島中央テレビ賞)の2人の作品です。目には見えない電波ですが、私たちの生活を支えている大切なもの。お互いに気をつけたいですね。

ガーナ大統領が福島空港から 帰国の途に




ガーナ共和国のジェリー・ジョン・ローリングス大統領一行13人が、福島空港から帰国の途につきました。大統領一行は、東京で開かれた「アフリカ会議」に出席した後、回国にゆかりのある猪苗代町の野口英世記念館や郡山市のハイテクプラザなどを見学するため来県したものです。

教育委員に 小原嗣男さん

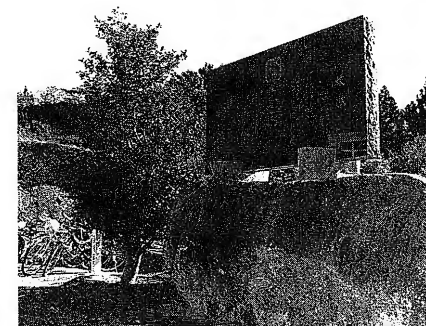
10月29日村長室において、村教育委員の任命式が行われました。

今回就任された教育委員は、小原嗣男さん(49歳・南須釜)で、任期満了となった大野式吉さんの後任として、先の臨時議会において同意されたものです。小原さんは、今後4年間、村の教育行政にたずさわります。



たまかわ トピックス

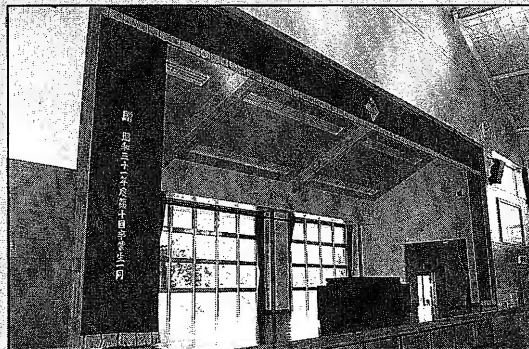
—みなさんからの話題をおまちしています—
役場企画調整課
広報係まで



母校の更なる躍進を願って

卒業生が母校に記念品

昨年改築された須釜中学校に卒業生から記念品などの寄付が相次いでいます。玄関前には須釜中の昭和31年



度卒業生が校歌を刻んだ記念碑と昭和27年度卒業生のサザンカの木。体育館には昭和31年度卒業生からのステージ幕と昭和37年度卒業生からの校歌を書いた額、それに昭和54年度卒業生からの教育目標を書いた額が贈られています。記念品には、卒業生たちの母校の更なる躍進を願う気持ちが込められていると思います。在校生の皆さん頑張ってください。

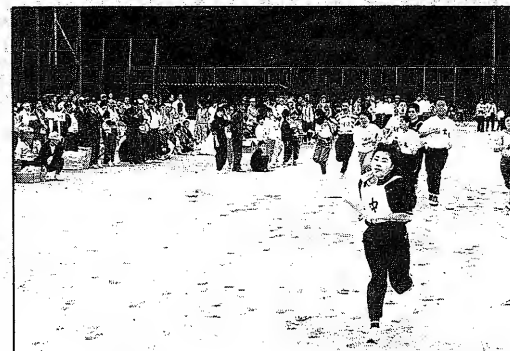


33年の伝統

玉川村体育祭

村民体育祭が村民グラウンドで開かれました。村民の健康づくりと親ほくを図ることを目的とした本大会も、回を重ねること今年で33回目。村の伝統のスポーツ行事になりつつあります。玉川一小の鼓笛隊を先頭にした入場行進に始まり、区対抗リレーや玉入れ、綱引きなど14種目に汗を流しました。成績は次のとおり。

優勝 中区
準優勝 川辺区
第3位 南須釜区



11・12月の健康ごよみ

- 11月
- 17日(水) 母親教室 午前9時15分～
 - 18日(木) 機能訓練 午後1時30分～
 - 22日(月) 成人病予防教室 岩法寺農構センター 午前9時30分～
- 12月
- 1日(水) 血圧デー
 - 3日(金) 子宮がん検診
 - 6日(月) /
 - 7日(火) 成人病予防教室 須釜公民館 午前9時30分～
 - 8日(水) 機能訓練 午後1時30分～
 - 10日(金) 乳児健診 午後1時～ (対象 平成5年7月8月生まれ)

◎：保健センター

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

記

- 北須釜の鈴木一さんから 1万円
- 北須釜の高原豊勝さんから 3万円
- 北須釜の小針高雄さんから 1万円
- 小高の和田豊彦さんから 3万円
- 小高の車田正衛さんから 2万円
- 北須釜の関根今朝夫さんから 3万円 (村社会福祉協議会)

ご利用ください国の教育ローン

●対象者 次の学校に入学・在学の方または保護者(高校・高等専門学校・短大・大学・大学院・盲学校の高等部など)

●融資金額 1人150万円以内

●利率 年4.6%(11月1日現在)

●融資期間 8年以内

●使いみち 入学時に必要な費用(入学時学校納付金、受験のための費用など) 在学中に必要な費用(授業料等学校納付金、下宿代など住居に係る費用、通学に必要な交通費)

●返済方法 元利均等毎月払い

●保証 (財)教育資金融資保証基金または保証人1人以上

●申し込み・問い合わせ先 国民金融公庫 郡山支店 ☎0249-2317140 郡山市清水台1-6-21

村のようす (5年10月1日現在)

1,718戸(+11)

7,657人(+8)

3,781人(+7)

3,876人(+1)

目標まであとわずか 死亡事故ゼロ1000日達成

玉川村では、来年1月27日で交通死亡事故ゼロ1,000日を達成いたします。悲惨な交通事故を無くすのは、みんなの願いです。村民1人1人が協力し、死亡事故ゼロ1,000日を達成しましょう。

今月の納税

村県民税 第3期分
国民年金保険料 11月分
国民健康保険税 第5期分

(納期限は11月25日休です。忘れずに納めましょう)

住宅金融公庫からのお知らせ

住宅金融公庫の平成5年度第2回申込みを受け付けております。
●受付期間 11月1日(月)～11月19日(金)
この度、金利が引下げになり、お客様にはますますよりご利用し易くなってまいりました。また、お申込みはお近くの金融機関(住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関)で行いますので、大変便利です。マイホームの新築・購入・リフォームなどをお考えの方は、ぜひ公庫融資をご利用ください。お問い合わせは、住宅金融公庫東北支店☎022-227-5003もしくはお近くの金融機関までお願いします。

お誕生おめでとう ございます



(10月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
小高	吉田 聖	浩 則
中	小針 由佳	成 次
岩法寺	小針 桂輔	良 直
〃	白川 里実	泰 央
〃	渡辺 佳奈	貴 光
竜崎	車田 知穂	武 実

おくやみ申し上げます

(10月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小高	車田 シノ	93	正 一
〃	和田 シン	88	ユタカ
岩法寺	草野 敏正	67	義 房
北須釜	鈴木 マツヨ	62	武 士
〃	小針 秋雄	46	高 雄
〃	高原 勝利	40	美智子
〃	関根 ソノ	96	良 吉

祭等に必要経費、住宅改造費、自動車購入資金等)
●住宅資金(住宅の増築、改築、補修等のための資金等)
●詳しいことについては、村社会福祉協議会までお問い合わせください。



泉中学校文化祭(体育の部)から

くらしの情報

みんな集まれ! 卓球大会をやりませう

玉川卓球クラブが主催する「卓球大会」が開かれます。どなたでも参加できますので、どんどんお申し込み下さい。

- 大会日時 平成5年12月12日(日) 午前9時～
- 場所 玉川勤労者体育センター
- 種目 小学生の部(シングルス) 一般の部(シングルス・ダブルス)
- 申込先 玉川村公民館☎57-3101内線62番か塩沢正勝さん☎57-3907まで
- 申込期限 12月3日まで

夢は海からやってくる 国立宮古海員学校生徒募集

国立宮古海員学校では、平成6年度に入学する生徒を募集しています。

- 概要 要…修業年限3年の船員教育機関
- 募集人員…本科40名
- 受験資格…中学校卒業(卒業見込みを含む)
- 願書受付…平成6年1月10日～2月9日
- 入学試験日…平成6年2月13日(日)午前9時開始
- 試験科目…国語、数学、英語
- 問合せ先…宮古海員学校総務課 ☎0193-62-5316

福島県の最低賃金 1日4,258円 1時間534円

10月1日から福島県の最低賃金は、1日4,258円、時間給労働者1時間534円となっております。

この最低賃金は、福島県内の事業場で働くすべての労働者(パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用されます。詳しくは、須賀川労働基準監督署まで☎0248-75-3519

ダメ。ゼッタイ 10/1～11/30 麻薬・覚せい剤撲滅運動

麻薬、覚せい剤、向精神薬、シンナー等の乱用は、使う人の体をむしばみます。そればかりか、様々な犯罪の原因となり他人の人生をも狂わせます。

ゼッタイやらない。今すぐヤメタイ。覚せい剤等の相談は石川保健所☎26-1111まで。

'94 自衛隊 募集

- 募集人員 陸(250人)海(60人)空(60人)
- 資格 中卒(見込)17歳未満男子
- 受付期間 平成5年11月1日～平成6年1月4日
- 試験期日 1次 平成6年1月6日 2次 平成6年1月20～23日

詳しくは郡山募集事務所まで。 ☎0249-32-1424

応援します やさしいまち、家づくり

福島県では、お年寄りや体の不自由な方などが安心して暮らすため、不特定多数の人が利用する ①建築物の増改築 ②車両等の購入などを対象に融資制度「やさしいまちづくり推進資金」を設けています。

また、住み慣れた家をお年寄りや体の不自由な人が住みやすいよう改造する際に利用できる融資制度「高齢者等住宅改造資金」も設けています。

詳しいことは、役場住民課福祉係☎57-3161内線27番まで。

年末調整

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。

次に該当する人などは、勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。

- ①扶養親族に異動のあった人
- ②各種保険料の控除を受けようとする人
- ③配偶者特別控除を受けようとする人

詳しくは、最寄りの税務署まで。

福祉の窓 生活福祉資金の貸し付け

身体障害者手帳所持者の属する世帯に対し、次のような資金の貸付制度があります。

- 身体障害者更生資金(生業費、就職の支度費、技能習得費など)
- 生活資金(生業を営み、技能習得期間中、又は療養中の生活維持費)

●福祉資金(結婚、出生、葬祭等に必要経費、住宅改造費、自動車購入資金等)



思い出のアルバム⑤

「定規植え？」

この写真は、曲山勉さん(蒜生)から提供されたものです。

「写真の内容については、よく分りませんが…」ということでしたが、写真の表紙部分にメモがありました。

メモによると、昭和16年6月13日「富民協会水稲増収競技会出品田植状況」のようです。場所は、小高地区の中村前あたりではないでしょうか。

かなり長い苗を木の定規を使って植えている様子が分かります。大戦を前にした田植のせいか、どことなく明るい雰囲気があります。

写真の左端は当時の泉村村長矢部欣治氏、その右側が担当者の溝井喜八郎氏、その右側が技術員とだけ書いてありました。技術員の服装からもなんとなく戦争が近いことが伺えます。

皆さんからの懐かしい写真をお待ちしています。写真をお持ちの方は、役場企画調整課の広報係須田まで

たまかわの皆さん お元気ですか

—東京玉川会員だより—

「いつでも気軽に立ち寄り下さい」

東京都練馬区 吉田千代乃さん(川辺出身)



今年の異常気象で、農家の皆さんは大変だったと思います。私も、田舎から一年分のお米を買っていますので、今年はどうなることやと心配しています。

私たち夫婦は、二人とも川辺出身です。上京して40年ぐらいいになりますが、同郷という事で話も合いますし、食べるものも同じなので苦労はありませんでした。

練馬に来て20年。最初の頃は、奥さん同志は知り合えても御主人は知らないというのが多かったのです。でも、ほとんどの人が地方出身者で親せきも少ないことから、お互いに助け合いましょうと13年位前に親睦会をつくりました。新年会や忘年会など夫婦同伴で出席し、楽しんで

います。最近は一泊旅行へも出かけます。この写真は、今年の夏に自動車修理店の仕事を片付けて、焼肉で納涼会をしたところです。

一声かけたら20人ぐらいい集まりました。奥さんたちの腕をふるった料理にいろんな話に花が咲き、とても楽しいひとときを過ごしました。私は、いつでも誰でも気軽に出入りできる家を心がけていますので、気が合う仲間が多いこの地に来て、ほんとうに良かったと心から思っています。では、会員の皆様、村民の皆様お元気でお過ごし下さい。また、こちらの方へお出かけの際には、いつでもお立ち寄り下さい。